



村内小中学校 書き初め展・描画巡回展



五木東小
第29号

学校便り
文責
生田 文明

一月十九日～二月十三日まで、五木村教育委員会主催の「小・中学校書き初め展」と「描画巡回展」が、五木村役場ロビー及び五木村健康福祉総合センターロビーで開催されます。

一・二年生は、「書写」の教科書を参考に硬筆で、三年生「お正月」、四年生「美しい心」、五年生「新春の春」、六年生「伝統を守る」を毛筆で、画の止め・はね・払い、画の長さや間隔、筆順と字形、文字と文字のバランスなどに注意しながら書きました。

また、描画では、一年「つたえよう がんばったこと たのしかったこと」、二年「動物さんとわたし」、三年「魔法の力をもつ時計」、五年「ふるさと写生（頭地大橋とその周辺）」、六年「ふるさと写生（かやぶき民家）」というテーマのもと、想像を膨らませたり、風景をよく見たりして、クレヨンや絵の具の特性を生かしながら描きました。

小中学生全員の書き初めと描画が展示してありますので、ぜひ、ご覧ください。



十九日（月）の第三回児童総会では、二月二十一日（日）に開催する五木源ふれあいフェスティバルを盛り上げるための方策について話し合いました。

事前に各学級で話し合いをもち、総会に臨みました。今回の総会では、「自分の意見をもち進んで発表する」をめあてにしました。ほとんどの児童が、理由を付けて自分の意見を進んで発表することができました。

総会では、みんな楽しく助け合う五木源フェスタにするために、スローガンを「笑顔いっぱい 協力し合う五木源フェスタ」と決めました。また、自分たちができることとして、会場の飾り作り（低学年）、会場の飾り付けとポスター作り（中学年）、受付とプログラム作り（高学年）を行うことになりました。

これらのことを決める際に、学年で重なってしまうこともありましたが、しかし、みんなが仕事内容をよく考えて、仕事の割り振りを決めることができました。

「相手のことを考えて自分の意見を出す。」そんな発言が多く見られ、児童の成長が感じられた児童総会でした。



自分の意見もち 進んで発表



二十五日（日）、標記リサイクル運動が開催されました。当日は、天候にも恵まれ、暖かい日さしの中で作業を進めることができました。

早朝から、各地区での空き缶・空き瓶の回収。八時過ぎには、回収したリサイクル品の整理とトラックへの積み込みを学校で行い、九時過ぎに作業が完了しました。

今年は、学校駐車場の一部が建設用資材置き場になっていたため、空き缶と空き瓶の作業場を学校横駐車場と保育所横駐車場の二カ所で行いました。いつもと勝手が違い、作業の進行が心配でしたが、子どもたち・保護者の皆さんの協力で、約一時間程度で作業を完了することができました。

地域の皆さんには、本運動に参加していただき、たくさんリサイクル品を寄せていただきました。本リサイクル品の益金につきましては、子どもたちの教育環境の充実のために活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

第二回リサイクル運動

